

令和6年度 江東商業高等学校 年間授業計画（1学年用）

教科：（保健体育） 科目：（保健） 単位数：（1単位） 対象：（第1学年A組～E組）

教科担当者：（A組：小野）（B組：川上）（C組：川上）（D組：川上）（E組：小野）

使用教科書：（現代高等保健体育 保体701 大修館書店）

教科・科目の目標：

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。
(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の観点：

【知識・技能】：知	【思考・判断・表現】：思	【主体的に学習に取り組む態度】：主
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元項目	学習内容	評価規準	評価の観点			配当 時数
				知	思	主	
1 学 期	オリエンテーション 1 単元 現代社会と健康 1 健康の考え方と成り立ち	・さまざまな健康の考え方について学習する。 ・健康を成り立たせている要因について学習する。	(知)健康水準及び疾病構造の変化には、社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思)健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 (主)健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
	2 私たちの健康のすがた	・わが国の健康水準の変化とその背景について学習する。 ・わが国の現在の健康問題について学習する。		○	○	○	4
	3 生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病の種類と要因について学習する。 ・生活習慣病の一次予防、二次予防について学習する。	(知)生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思)生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 (主)生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
	4 がんの原因と予防	・がんの種類や原因について学習する。 ・がんの一次予防と二次予防について学習する。		○	○	○	3
	5 がんの治療と回復	・がんのおもな治療法や緩和ケアについて学習する。 ・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について学習する。					
	6 運動と健康	・健康と運動の関係について学習する。 ・目的に応じた健康的な運動のしかたについて学習する。	(知)がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	3
	7 食事と健康	・食事と健康の関係について学習する。 ・健康的な食事のとり方について学習する。	(思)生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 (主)生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
	8 休養・睡眠と健康	・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について学習する。 ・健康と睡眠の関係及び健康による睡眠のとり方について学習する。					3
				○	○		1

2 学 期	9 喫煙と健康	・喫煙者やその周囲の人に起こる害について学習する。 ・喫煙対策について学習する。	(知)喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○			4
	10 飲酒と健康	・飲酒による健康への短期的と長期的影響について学習する。 ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について学習する。	(知)コカイン、MDMA などの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。				
	11 薬物乱用と健康	・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について学習する。 ・薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例を学習する。					
	12 精神疾患の特徴	・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について学習する。 ・現代社会における精神保健の課題について学習する。	(知)精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。				
	13 精神疾患の予防	・精神疾患を予防する方法について学習する。 ・精神疾患の早期発見のために必要なことについて学習する。	(思)・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	○	○	○	3
	14 精神疾患からの回復	・精神疾患の治療について学習する。 ・精神疾患の適切な治療や回復について学習する。	(主)精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
	15 現代の感染症	・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて学習する。 ・新興感染症と再興感染症が流行する要因について学習する。 ・感染症の予防対策について学習する。	(知)感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○		○	3
	16 感染症の予防	・感染症への個人と社会の対策について学習する。					
	17 性感染症・エイズとその予防	・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について学習する。 ・性感染症・エイズの予防とその対策について学習する。	(主)現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
3 学 期	18 健康に関する意思決定・行動選択	・意思決定・行動選択に影響を与える要因について学習する。 ・健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について学習する。	(知)健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。				
	19 健康に関する環境づくり	・社会環境の健康への影響について学習する。 ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について学習する。	(思)健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 (主)健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				3
	定期考査			○	○		1
	2 単元 安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因	・事故の実態と被害の実態について学習する。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて学習する。	(知)交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。				
	2 安全な社会の形成	・安全のために必要な個人の行動について学習する。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について学習する。	(思)安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	○	○	○	3
	3 交通における安全	・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について学習する。 ・交通事故における責任について学習する。	(主)安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
	4 応急手当の意義とその基本	・応急手当の意義について学習する。 ・傷病者を見出したときに、確認・観察するポイントについて学習する。	(知)自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	3
	5 日常的な応急手当	・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について学習する。	(思)応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。				
	6 心肺蘇生法	・心肺蘇生法の方法と手順について学習する。	(主)応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
	定期考査			○	○		1
合計							35